

事業名	和牛の産肉能力検定事業並びに和牛人工授精及び種畜改良		
予算区分	県単 (44,817千円)	担当	改良技術研究室 育種改良グループ
事業期間	継続 (昭和43年度～)	協力関係	
事業目的	和牛の雄牛について、直接検定並びに後代検定を実施し、産肉能力を判定し、優秀種雄牛の早期作出を行い、もって和牛改良に資する。 また、岡山県の精液(黒毛和種)供給のメインセンターとして凍結精液の生産・保管・配布し、優良遺伝子の保存を行う。		
<p>○ 本年度事業のねらい</p> <p>事業1 産肉能力検定(直接法) (事業の内容) 肉用牛広域後代検定推進事業で選定された基礎雌牛から生産した優良雄子牛について、約8ヵ月齢から112日間(16週)飼育試験を実施し、増体能力や体型から候補種雄牛を選抜する。</p> <p>事業2 産肉能力検定(現場後代検定法) (事業の内容) 事業1の産肉能力検定(直接法)で選抜した候補種雄牛の産子(後代検定牛)を畜産研究所及び県内肥育農家で去勢29ヵ月齢、雌32ヵ月齢を上限に肥育し、枝肉成績により産肉能力を判定して基幹種雄牛を選抜する。併せて、後代検定牛を確保するため、県内繁殖牛に対して調整交配を実施する。</p> <p>事業3 精液生産・配布 (事業の内容) 岡山県の精液(黒毛和種)供給のメインセンターとして、凍結精液の生産、備蓄及び配布を行う。</p> <p>① 種雄牛繫養頭数 16頭 ② 精液生産計画本数 15,920本 ③ 精液配布計画本数 7,500本(特級6,000本、2級1,500本)</p> <p>○ 前年度の成果</p> <p>H28年度</p> <p>事業1 産肉能力検定(直接法) 3セット頭の直接検定を実施し、2セットを終了した。検定終了牛から4頭(晴乃国、葵花国2、高美須、秋藤花国)を候補種雄牛として選抜した。</p> <p>事業2 産肉能力検定(現場後代検定法) 黒金糸藤の検定が終了し、成績から基幹種雄牛に選抜されることとなった。 美咲秋藤は、15頭中11頭の検定が終了し、成績から非選抜となった。</p> <p>事業3 精液生産・配布</p> <p>① 種雄牛繫養頭数 17頭 ② 精液生産本数 11,826本 ③ 精液配布本数 5,947本(特級4,411本、2級1,536本)</p>			

○ 前年度までの問題点・課題点

事業1：子牛価格の高騰により購入予定頭数を満たすための予算が逼迫している。

事業2：飼料価格の高騰、子牛導入価格の急騰による検定費用が増加している。
調整交配による検定牛の計画的な受胎・生産が困難である。

事業3：藤沢茂に需要が集中して、他の基幹種雄牛の譲渡本数が少ない。

○ 本年度事業計画

事業1 産肉能力検定（直接法）

肉用牛広域後代検定推進事業で選定された基礎雌牛から生産した優良雄子牛について、飼育試験を実施し、候補種雄牛を選抜する。

(1) 検定開始頭数 8頭（購入：5頭、所内生産：3頭）

(2) 検定期間 予備期間20日、本検定期間112日

検定セット	頭数	検定期間	備考
H28 第3セット	3頭	H29. 1. 17～H29. 5. 9	全共1区対象牛含む
第1セット	2頭	H29. 6. 13～H29. 10. 3	
第2セット	3頭	H29. 8. 22～H29. 12. 12	
第3セット	3頭	H29. 11. 14～H30. 3. 6	
計	8頭		

(3) 選抜予定頭数 3頭

(4) 検定項目 1日当たり増体量、365日齢補正体重、余剰飼料摂取量、粗飼料要求率等

事業2 産肉能力検定（現場後代検定法）

1 現場後代検定の実施

事業1の産肉能力検定（直接法）で選抜した候補種雄牛の産子等を畜産研究所及び県内肥育農家で肥育し、枝肉成績により基幹種雄牛を選抜する。

(1) 検定種雄牛及び検定期間等

検定種雄牛名	頭数	検定期間	備考
美咲秋藤	1 5頭	H26. 8～H29. 8	
新高水	1 8頭	H26. 12～H29. 8	
茂花矢	1 9頭	H27. 4～H29. 10	
新岡光 8 1	1 4頭	H27. 10～H29. 12	
新百合	1 7頭	H27. 12～H30. 2	
花千代	9頭	H27. 12～H30. 1	
花矢大河	1 7頭	H28. 5～H30. 8	
福中平	1 6頭	H28. 6～H30. 8	
美恵茂	1 5頭	H28. 11～H31. 4	
百合高	2 0頭	H29. 6～H31. 10	
晴乃国	1 7頭	H30. 1～H32. 5	
葵花国 2	1 4頭	H30. 1～H32. 4	
秋藤花国	2 0頭	H30. 7～H32. 10	
高美須	2 0頭	H30. 7～H32. 10	

(2) 検定農家等 畜産研究所、県内肥育農家7戸程度

(3) 検定頭数(28年度開始分) 畜産研究所29頭（購入：6頭、所内生産：23頭）
肥育農家 19頭

(4) 肥育期間 去勢：29カ月齢未満、雌：32カ月齢未満

(5) 調査項目 枝肉重量、ロス芯面積、脂肪交雑等枝肉成績、食味形質(オレイン酸等)

(6) 選抜予定頭数 1頭程度

2 調整交配の実施

後代検定牛を確保するため、県内繁殖牛に対して次のとおり調整交配を実施する。
調整交配牛及び時期等

調整交配牛名	調整交配頭数	交配時期	備考
種雄牛A	20頭	H29. 6～H29. 9	所内 8頭、繁殖農家12頭
種雄牛B	20頭	H29. 12～H30. 3	所内 8頭、繁殖農家12頭
種雄牛C	20頭	H29. 12～H30. 3	所内 8頭、繁殖農家12頭
計	60頭		所内24頭、繁殖農家36頭

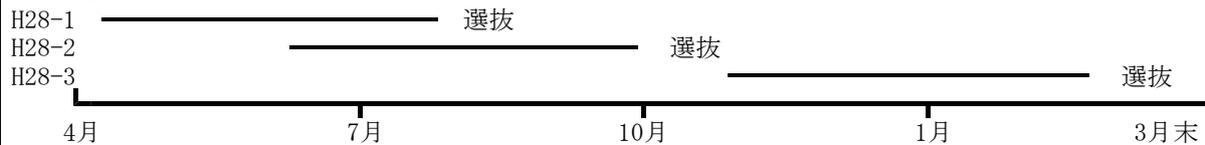
事業3 精液生産・配布

岡山県の精液(黒毛和種)供給のメインセンターとして、凍結精液の生産、備蓄及び配布を行う。

- (1) 種雄牛繫養頭数 16頭
- (2) 精液生産計画本数 15,920本
- (3) 精液配布計画本数 7,500本 (特級4,000本、2級1,500本)

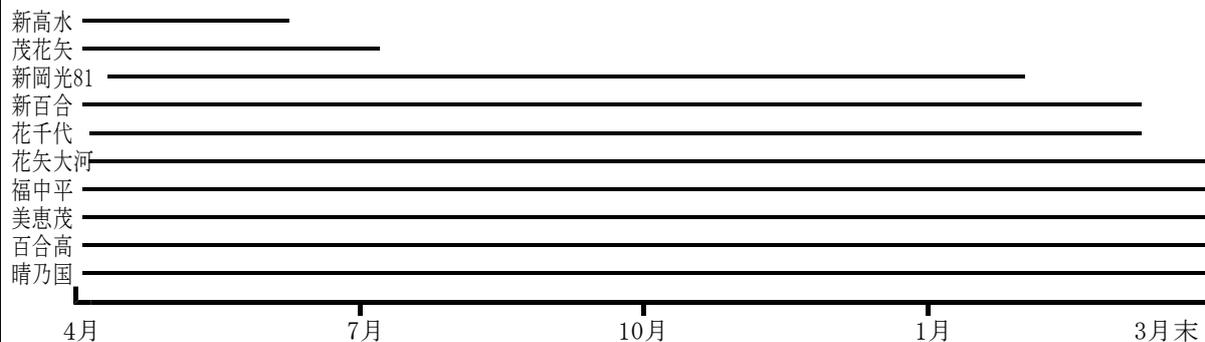
年度スケジュール

<事業1>

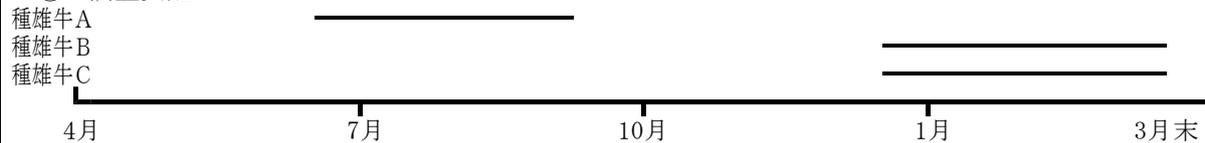


<事業2>

① 検定実施期間

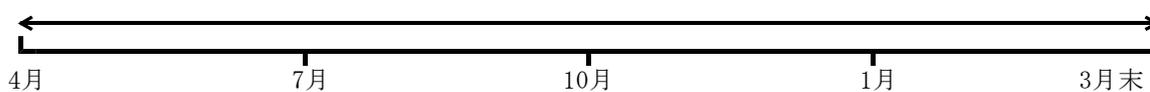


② 調整交配



<事業3>

※ 精液配布は月1回



優良種雄牛の作出

